

青森県八戸市

活動名

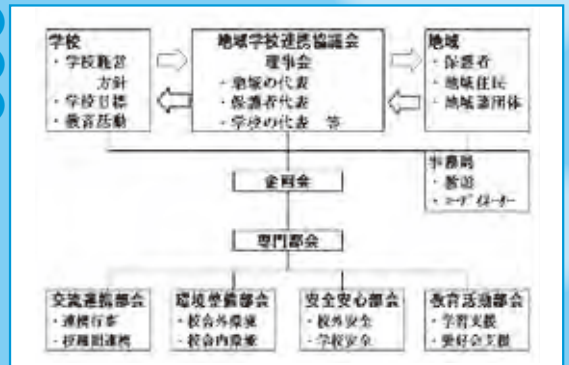
八戸市立柏崎小学校地域密着型教育

関係する学校名

柏崎小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 3人	ボランティア登録数 40人	学習支援 無	開始年度 20年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要・経緯

平成20年度に八戸市教育委員会より地域密着型教育推進事業モデル校の指定（2年間）を受け、地域密着型教育を推進して9年目を迎える。

学校内に、地域学校連携協議会（地域の代表11人、保護者代表4人、学校代表4人）を設置し、地域密着型教育における取組計画や取組についての意見・要望等、学校目標・重点施策にかかる自己評価の説明や各専門部会の取組状況、学校支援ボランティア活動の現状と今後、来年度の学校運営等について協議している。そして、4つの専門部会（地域住民、保護者、教職員から構成）により、学校目標達成のための具体的・実践的な活動を行っている。

また、地域コーディネーター（3名）と教頭が事務局を担うことで、地域と学校が連携・協働して企画調整を図り、より充実した連携・協働した活動となっている。

活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 1 教育活動部会
 - ・「朝の読み聞かせ」…月2回、読み聞かせボランティア「かしわ お話のたまご」のメンバーが、絵本等の読み聞かせをしている。本との出会いを創る活動となっている。
 - ・「愛好会支援」…「地域密着型教育」の趣旨を踏まえ、教職員・保護者・外部指導者が協働して、スポーツ・文化活動（部活動）をととして児童の健全育成を図っている。外部人材を活用した活発な活動が継続的に行われている。
- 2 安全安心部会
 - ・「校外子ども会・集団下校訓練」…「校外子ども会」は、町内の子供会ではなく、学校が地域と一緒に校外での生活指導を目的に、町内ごとに組織している会である。各町内会長、公民館長、地区の関係諸団体の代表、そして交番所長が参加し、具体的に安全指導や町内会の行事紹介をしている。また、緊急時に備えての集団下校訓練（児童の安全確保）も実施している。
- 3 交流連携部会
 - ・「柏崎地区区民運動会」…地区の体育振興会と学校と一緒に開催している（今年で68回目）。全校児童が町内毎に分かれて参加している。

【実施に当たっての工夫】

- 1 地域との連携・協働を深めるために、コーディネーターが地域の関係団体や人材等に係わる情報収集に努めるとともに、連携だよりを作成・発行し、学校だよりやPTA広報誌とともに全町内会で回覧し、活動への理解を深めてもらうようにしている。
- 2 各専門部会の活動では、地域と学校の架け橋であるPTAが、地域住民のボランティア募集や活動の推進において中心となって事業を進め、大きな役割を担っている。

事業を実施しての効果・成果

- ・「共に育て、共に育つ」の考え方が浸透し、「ボランティア」に参加する保護者・地域の方々・教職員・児童が増え、「みんなの学校」という意識が高まってきている。
- ・「校外子ども会・集団下校訓練」等に参加する地域の方々が増え、児童と顔見知りになり、児童と地域の方々がつながってきている。
- ・地域の方々の協力による教育活動への支援により、安全に、継続的に多くの体験的な学習を行うことができています。
- ・地域への愛着が強まり、児童のまちづくりへの意識が高まる。家庭や地域へ「あいさつの輪を広める」児童会活動や、地域行事への参加など、自主的に実践されている。



入学祝としてすてきなプレゼント、最初の「読み聞かせ」



地域の方々、保護者に見守られての「集団下校訓練」